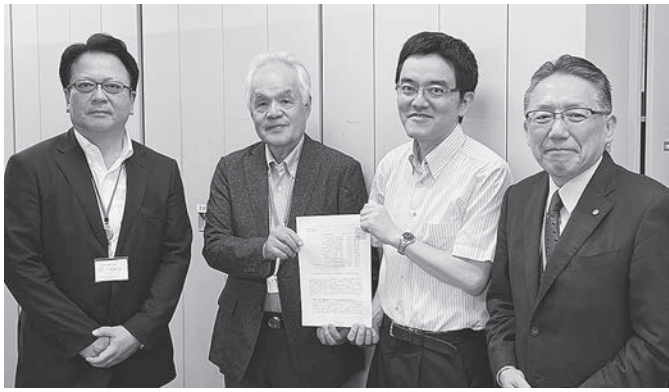


令和8年度
診療報酬

改定要望・第2報

日本病院団体協議会



右から、日病協・神野副議長（全日本病院協会会長）、厚労省保険局・林医療課長、日病協・望月議長（全国自治体病院協議会会長）、日病協・診療報酬実務者会議津留委員長（全日本病院協会常任理事）

日病協は4月16日に昨今の物価・人件費等の高騰に鑑み「入院基本料の大幅な引き上げ」など総論的な実現を求めた【第1報】の要望書を提出しているが、病院経営がこれまで経験したことのない極めて厳しい状況に追い込まれていることから、【第1報】で要望した

日本病院団体協議会（日病協、議長＝望月泉・全国自治体病院協議会会長）は7月16日、令和8年度診療報酬改定に係る要望書【第2報】を厚労省へ提出した。【第2報】では「重症度、医療・看護必要度について内科系急性期患者の適切な評価の見直し」など13項目の実現を要望している。

重症度、医療・看護必要度

内科系急性期患者の適切な評価など

5項目の実現に加え、今回の【第2報】では13項目の実現について要望している。要望の内容は以下のとおり。

令和8年度診療報酬改定に係る要望書【第2報】

令和7年度に入ってもインフレ基調は変わらず、

物価高騰、人件費高騰令和7年春闘賃上げ率2年連続で5%超）は続いており、病院経営は更に深刻な状況へと悪化しています。病院医療は地域社会における最も重要なインフラの一つです。適切に診療報酬が上からなければ、地域で必要とされる病院が経営難から機能不全に陥り、「助かるべき命が助からない」という本当の意味での医療崩壊が始まります。一旦崩壊した医療インフラは簡単に立ち直る事は出来ません。その危機的状況を回避させるためにも、前回総論的な要望【第1報】でお願いしましたように、基本的な入院料を堅実に引き上げて頂くと共に、より適切な医療サービスの提供が出来る様、改めて13項目の要望【第2報】を提出します。

1. 重症度、医療・看護必要度について内科系

公私病連ニュース

発行所
一般社団法人
全国公私病院連盟
東京都台東区寿4丁目15-7(〒111-0042)
食品衛生センター7階
TEL03(6284)7180 FAX03(6284)7181
https://www.byo-ren.com/
編集
全国公私病院連盟・広報委員会
毎月1日発行 年間購読料1,000円
(購読料は会費に含まれます)

国民医療の
確保のために
病院診療報酬の
引き上げを

急性期患者の適切な評価の見直し

令和6年度診療報酬改定における、一般病棟利用の重症度、医療・看護必要度の評価項目の見直しについて、内科系の急性期患者が評価されにくいという内科系評価指標関

時評

現在の診療報酬制度では、病院の経営は成り立たなくなってきたり、各病院団体からは、診療報酬の引き上げを始め、様々な改革案の要望が出されつつある。加えて大きな問題は、病院の建て替えができなくなってきたりすることである。NHKの調査では、全国の病院の27%が法定の耐用年数を超える築40年以上の病棟を有しているという。



病院建て替えの
補助制度の創設を望む

連盟 常務理事 川嶋 成乃亮

24年では、1平米あたりの建築費が1・8倍増加したとしている。しかし実感的にはもっと上昇しているように思われる。建築費は、今後も更に上がっていく下がることはな

境となっており、また患者動線や安全の観点からも不適な構造となっていることが多い。し

をなす病院においては切実な問題である。支援が期待できる財政規模の大きい自治体の病院はともかく、財政規模の小さい自治体の公立病院や、済生会な

域の医療の問題は解決できない。加えて、包括的医療を行う、あるいはかかりつけ機能を有す、地域に密着した病院も存続する必要がある。都市部において

（大阪府済生会中津医療福祉センター総長）

め、全国的にほとんどの病院で建て替え計画が中座している。原因は建築費の急な高騰である。

厚労省の調査では、2014年と比べ20

い、というのが建設会社の話である。

病院というのは社会インフラとして欠かせないものである。老朽化した病院・病棟は、快適とは程遠い入院環

でも続かない。

この老朽化した病棟・病院が建て替えできないという問題は、都市部でも地方でも一律に起こっており、特に、地方の中核的役割

は民間病院では、財政的に建て替えが非常に厳しい。

病院の再編・統合を行い、大規模な公立病院に病院機能を集約することのみでは、地

療、あるいは高度急性期病院の後方支援を行う病院が必要であり、それらもまた建て替えが必要という視点を忘れてはならない。

日本維新の会等が掲げる医療費の大幅削減案の実現性の問題とは別個に、病院建て替えのための補助金を新たに創設してほしい。その場合、闇雲に病院建て替えに補助をするのではなく、地域での役割、重要性を考慮し、その病院の補助の程度を決める必要がある。そのためには、より高いレベルでの地域医療構想の充実が強く望まれる。

2. 高齢急性期患者の受け入れに適切に機能する地域包括医療病棟入院料の見直し

地域包括医療病棟入院料については、2040年に向けて今後増加が見込まれる高齢者救急、高齢急性期患者に対応する病棟機能として、令和6年度改定で新設されましたが、重症度、医療・看護必要度の基準も含め、施設基準が非常に厳しく、急性期一般入院料1（7対1）の届け出要件を満たせなくなった病棟の受け皿としての意味合いにやや偏った施設基準であったとも言えます。急性期一般入院料と地域包括ケア病棟入院料との中間

的機能のバランスを保ちながら、より積極的に高齢者救急、高齢急性期患者の受け入れが可能となるよう、適切な施設基準の見直しを要望します。

3. 介護専門職（介護福祉士）配置、介護を行う看護補助者の更なる評価と配置要件の拡大

令和6年度改定で新たに設けられた「看護補助者体制充実加算1」では、看護補助者への評価が見直され、施設基準として初めて、「介護福祉士の資格、または看護補助者として3年以上の勤務経験と適切な研修の修了」が要件に加えられました。今後とも急性期から慢性期まで医療機関に

おける要介護高齢者は増加し、看護師の介護負担は益々大きくなります。介護専門職（介護福祉士）配置、もしくは介護を行う看護補助者の更なる評価を要望します。

4. 精神病床における身体疾患やリハビリテーション、権利擁護等への対応に係る医療資源投入への適切な評価

精神病床では、近年、入院期間に関わらず重い精神症状を抱えた患者が増え、身体疾患の併存やADL低下に対するケアの量も増加しています。さらに、精神保健福祉法の改正等を経て、患者の権利擁護への対応の努力も増加しています。しか

し多くの精神科病院が、新設後30年以上も経過している特定入院料等を算定せざるを得ず、医療資源投入量が診療報酬に十分に反映されていないため、精神病床が正当に評価されることを要望します。

5. 外来・在宅ベースアップ、入院ベースアップ評価料の適切な評価の見直しと、全職種を対象へ

令和7年度春闘の賃上げ率が2年連続で5%越えと言われている中で、我々医療界の人材が他産業に移動し、益々人手不足に拍車がかかることが無い

2面へつづく

明治15年10月1日安積疏水が完成した。3年の月日と当時の国家予算の3分の1をかけて、奥羽山脈にトンネルを掘り、猪苗代湖の水を安積原野（黒磯側）に流した。大久保利通の計画。ただし着工前に暗殺され、あまりにも高額なため、一時中止も検討されたが、伊藤博文が後を継ぎ完成。大久保いわく「先の内乱鎮圧（西南戦争等）のために、外国から多くの武器弾薬を買入れた。かなりの金額が海外に流れた。しかし、この工事費は奥州人の懐に入る」と

現代はどうか。介護保険は、ほとんどが人件費である。それを外国人に任せては、大部分が外国に行ってしまう。日本の若者が働きたくなるような金額にすれば、人手不足は解消し、各種の税が国に入る。高齢者が多く、医療費がかさむというのが、高齢者の多くは、高血圧、糖尿病等であり、薬はほとんどがジェネリックであり、日本の製品である。問題は、難病や悪性腫瘍のための薬であり、これらの多くは外国製である。つまり薬代は外国に流れる。製薬会社の開発の怠慢か、財務省の研究費をケチった結果か。今回当

公私病連が要求している医療費増は、その内容は人件費であり、国は所得、消費、法人税等で、元がとれる。

（K・M）

いる鉛筆

明治15年10月1日安積疏水が完成した。3年の月日と当時の国家予算の3分の1をかけて、奥羽山脈にトンネルを掘り、猪苗代湖の水を安積原野（黒磯側）に流した。大久保利通の計画。ただし着工前に暗殺され、あまりにも高額なため、一時中止も検討されたが、伊藤博文が後を継ぎ完成。大久保いわく「先の内乱鎮圧（西南戦争等）のために、外国から多くの武器弾薬を買入れた。かなりの金額が海外に流れた。しかし、この工事費は奥州人の懐に入る」と

全国公私病院連盟

第2部 【対談】	ぎょうてん・よしお 行 天 良 雄 氏	医事評論家
	かわしま・みどり 川 嶋 みどり 氏	日本赤十字看護大学 名誉教授
	へんみ・きみお 邊 見 公 雄	全国公私病院連盟 会長
	(司会) 中 嶋 昭 氏 (日産厚生会玉川病院・名誉院長)	

公益社団法人 全国自治体病院協議会・全国公立病院連盟・全国厚生農業協同組合連合会・
 日本赤十字社病院連盟・全国済生会病院長会・一般社団法人 岡山県病院協会・
 日本私立病院協会・一般社団法人 日本公的病院精神科協会

司会で、行天良雄先生
 川嶋みどり先生をお迎え
 して、本連盟の邊見公雄
 も加えて対談が行われま
 す。

入場は無料ですが、参
 加については事前の申し
 込みをお願いします。全
 国公私病院連盟のホーム
 ページより参加のお申し
 込みができます。

下のQRコードを（利

用ください。

“人生100年を生き抜こう”をテーマに
10/2(木)、日本教育会館「一ツ橋ホール」で

SJ24-05793 2024/08/07

問合先〓全国公私病院
連盟事務局TEL…03
(6284)7180
「日本教育会館」の所
在地〓東京都千代田区一
ツ橋2-6-2



◆ 参加の申込方法や注意事項などの詳細については、
全国公私病院連盟のホームページ <https://www.byo-ren.com/>
をご覧ください。

◆ お問い合わせ電話番号 03-6284-7180